

費用対効果評価: Hands on Workshop と本格導入時の課題と対策

主催 一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団

【講演内容】

- 10:00~10:05 開会挨拶 寺尾 允男(医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団会長)
- 10:05~10:30 第 1 講: 費用対効果評価を取り巻く背景 –規制関係や欧米の最新状況–
東 美恵(日本製薬工業協会医薬品評価委員会データサイエンス部会 TF3)
- 10:30~11:10 第 2 講: 費用対効果評価のフレームワーク 1 –概要紹介–
奥山 ことば(日本製薬工業協会医薬品評価委員会データサイエンス部会 TF3)
- 11:10~11:40 第 3 講: 費用対効果評価: 実務上の留意点
荒西 利彦(日本製薬工業協会医薬品評価委員会データサイエンス部会 TF3)
- 11:40~12:50 休 憩(昼 食)
- 12:50~13:20 第 4 講: 費用対効果評価のフレームワーク 2 –ケーススタディ–
中島 章博(日本製薬工業協会医薬品評価委員会データサイエンス部会 TF3)
- 13:20~13:30 休 憩(PC 準備)
- 13:30~15:45 第 5 講: Hands on Workshop
総合司会: 松下 泰之(日本製薬工業協会医薬品評価委員会データサイエンス部会 TF3)
日本製薬工業協会医薬品評価委員会データサイエンス部会 TF3 メンバー
ツール紹介: 直井 一郎(日本製薬工業協会医薬品評価委員会データサイエンス部会 TF3)
荒西 利彦(日本製薬工業協会医薬品評価委員会データサイエンス部会 TF3)
- 15:45~16:00 休 憩
- 16:00~16:45 第 6 講: 費用対効果評価: 試行的導入の経験に基づく分析の課題と対策
長瀬 哲也(ギリアド・サイエンシズ株式会社マーケット・アクセス部統括部長)
- 16:45~17:00 ディスカッション、質疑応答
河田 祐一(日本製薬工業協会医薬品評価委員会データサイエンス部会 TF3)

【日時および場所】

2019 年 2 月 15 日(金) 10:00~17:00 (受付開始予定 9:30)

日本薬学会 長井記念ホール (東京都渋谷区渋谷 2-12-15 地下 2 階)

平成 28 年度に試行的導入された費用対効果評価では、医薬品 7 品目/医療機器 6 品目の費用対効果評価の分析結果の提出が求められ、医薬品 2 品目の価格引き下げ、医療機器 1 品目の価格引き上げが行われました。今後本格導入が予定されていますが、これは高額な医療技術の増加による医療保険財政の影響への懸念、現在の医療技術の保険収載や保険償還価格の判断材料に費用対効果が重視されてこなかったことの見直しを示唆します。中医協は、これらの課題を解決するため費用対効果評価専門部会を設置し、試行的導入に至りました。将来的には薬価算定時や、保険償還の可否判断への活用も議論されており、企業は自社の医療技術の価値と価格に対し、説明責任を果たすことが益々求められます。

本研修会では、費用対効果評価の技術的な側面に焦点を当て、費用対効果を取り巻く内外の環境、一般的な方法論、及びケーススタディをご紹介します。さらに演習を通じて、費用対効果評価の基本的な考え方、手法を学びます。また、試行的導入の経験に基づく課題と対策についても取り上げ、ディスカッション・質疑応答を行います。演習で使用するファイルは、後日(2月上旬)ご案内します製薬協 Web サイトからどなたでもダウンロード可能です。**当日は当該ファイルを格納した PC を必ずご持参ください。**

本プログラムは初心者~中級者向けの内容であり、2018 年 2 月 23 日に実施いたしました専門コース(第 217 回)の内容と重複する箇所がありますことをご承知いただきますようお願いいたします。

本研修会の趣旨にご賛同いただき、多数の皆様にご参加いただきますようご案内申し上げます。

費用対効果評価: Hands on Workshop と本格導入時の課題と対策

主催 一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団

後援 日本製薬団体連合会
日本製薬工業協会
公益社団法人東京医薬品工業協会
関西医薬品協会
日本 OTC 医薬品協会

日本ジェネリック製薬協会
米国研究製薬工業協会(PhRMA)
欧州製薬団体連合会(EFPIA Japan)
一般社団法人日本 CRO 協会
一般社団法人日本医薬品卸売業連合会

公益財団法人ヒューマンサイエンス振興財団
公益財団法人 MR 認定センター
日本 CSO 協会
一般社団法人 ARO 協議会

【申込要領】

1. 申込方法

受講希望の方は財団ホームページ (<http://www.pmri.jp>) より申込手続を行ってください。

- ①ホームページ研修事業内「開催一覧」の研修会毎にある【申込】ボタンより、画面の案内に従って必要事項をご入力ください。
- ②申込完了後、受付番号及び入金方法をメールにてお知らせいたしますので、受講料をお振込みください。
- ③受講料お振込みを確認した時点で、参加登録が完了いたします。入金確認メールをお送りいたしますので、研修会当日には**入金確認メール(受講票)**を印刷し、ご持参ください。

2. 受講料(消費税込): テキスト代を含みます。

- ・ **法人賛助会員**(法人賛助会員は1口につき4名が会員扱い) / **個人賛助会員** 21,000 円
- ・ **レギュラトリーサイエンス エキスパート認定に係る登録者**(PV・開発・MA分野対象) 18,000 円
- ・ **非会員** 30,000 円
- ・ **行政/アカデミア/医療機関/学生** 9,000 円

なお受講者の方は、財団刊行物を特別価格でご購入いただけます。ご希望の方は、申込手続時に、案内に従ってご購入ください。その他の刊行物は、研修事業内「開催一覧」の「[お知らせ](#)」からご確認ください。

- <新刊>映像で学ぶ薬害シリーズ「薬害の知識と教訓」(DVD)
薬害ヤコブ病事件(文部科学省選定作品) ----- 44,000 円

- 日本は慢性疼痛にどう挑戦していくのか ----- 2,500 円
- 映像で学ぶ薬害シリーズ「薬害の知識と教訓」(DVD)
- 知っておきたい薬害訴訟の実際 ----- 2,500 円
- 温故知新 ～薬害から学ぶ～(DVD)
- 微生物迅速試験法 ----- 9,300 円

など

3. レギュラトリーサイエンス エキスパート認定単位

医薬品関係企業、行政機関、アカデミアおよび医療機関等の皆様に、最新の情報や知識等に関する研修の機会を利用し、研修実績を客観的に認定することで個人のモチベーションを高めスキルアップの持続を図っていただく制度です。当財団が行っている所定の研修会受講者をレギュラトリーサイエンス エキスパートとして認定いたします。

登録・認定の対象分野にはMA、開発、PV、品質、薬害教育があります。詳細は財団ホームページ「認定制度」をご覧ください。

本研修会は 登録単位 全分野：1.5単位

認定単位 **PV・開発分野：3単位** が、付与されます。

4. 注意事項

- * 振込依頼書のご依頼人欄には、必ず**受付番号と受講者氏名(カタカナ)**をご記入ください。お申込み後に返信メールが届かない場合にはご連絡ください。
- * 受講料をお振込みの上、ご参加ください。原則として、電話、FAX.での受付及び当日受付はいたしませんのでご了承ください。
- * 現金送金はご遠慮願います。
- * 受講料受領後の払い戻しはいたしませんので、予めご了承ください。
- * お振込みの控えをもって領収書に代えさせていただきます。
- * 個人賛助会員の方、レギュラトリーサイエンス エキスパート認定登録者の方は、ご本人の出席に限ります。
- * 当日、許可された方以外の撮影及び録音はご遠慮願います。

5. 問い合わせ先

一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団 研修担当；電話 03-3400-5644

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15 / <http://www.pmri.jp>

演題、講師、時間等一部変更する場合がありますので、予めご了承ください。